

鹿児島県畜産GX推進会議の開催結果について

1 開催日時

令和6年12月26日(木) 10:00~11:30

2 開催場所

県庁6階大会議室

3 出席者

県農業協同組合中央会, 県経済農業協同組合連合会, 県酪農業協同組合, 株式会社カミチクホールディングス, 株式会社ナンチク, 有限会社藤嶺牧場, 株式会社水迫ファーム, 株式会社森ファーム, 有限会社うしの中山, 株式会社高崎畜産, 鹿児島大学共同獣医学部畜産学科教授, 県信用農業組合連合会, 株式会社鹿児島銀行, 味の素株式会社, 味の素ヘルシーサプライ株式会社, 県農政部畜産振興課, 県総合政策部総合政策課

4 公開・非公開の別

公開

5 議事

- (1) 新規参加者について
- (2) 飼料用アミノ酸給与試験結果について
- (3) 各事業者における環境負荷の低減に係る取組について
- (4) J-クレジットの仕組みと今後の活用について
- (5) 鹿児島県畜産温室効果ガス削減推進に係る認定制度について
- (6) 「和牛日本一鹿児島」の統一ロゴマーク及び「和牛日本一鹿児島応援店」について

6 主な内容

(1) 新規参加者について

【県総合政策部より説明】

4月2日に協定式を結ばせていただいたが, 今回新たに, 「株式会社高崎畜産」様, 「株式会社高崎ファーム」様の2社に参加していただくことになっている。

(2) 飼料用アミノ酸給与試験結果について

【味の素(株)より説明】

- ・ 牛用ルーメンバイパスアミノ酸AjiPro-®Lを用いた, 肉用牛, 乳用牛の試

験結果について説明。

【質疑応答】

- ・ 鹿児島大学共同獣医学部畜産学科教授
豚や鶏の場合、成長を高める為に、必ず飼料にリジンを入れないといけ
ない。牛はそこまで重要視されていなかったが、今回の結果から、牛にとっ
ても、利用効率が高いルーメンバイパスリジンを給与することにより、こ
のような大きな効果が得られたのではないか。実際の生産現場で5%の増
体効果というのは、かなり大きな効果。今後、どうしてこうなったのかと
いうメカニズムの検証をしていくことで、更にこの効果が裏付けられ、普
及に繋がっていくのではないか。

- ・ (株)水迫ファーム
発育自体は非常に良い方向性として認められたと認知している。かつ、枝
肉出荷の成績も既に出ており、肉質云々どうこうに悪影響がある様な事
はないと思っている。また、トータルとして、重量は伸びているため、プ
ラスに働いていることは間違いない。第2弾として違う試験を行っており
、その次の段階の試験も視野に入れている。トータルとして、どうい
う使い方、どうい
う給与量が最大値を引き出すかというのは、まだまだこれからチェック
していかないと見いだせないが、少なくともプラスに働いているという
ところは、ある程度確信を持っている。

- ・ 県酪農業協同組合
粗タンパクを下げてもアミノ酸バランスさえ整えれば、酪農においても酪
農生産性を維持できるという所感。今回の取組については、生産性向上を
狙ったものではなかったが、牛1頭当たりのコストは削減できているため
、そういった面で生産者にとってはプラスの面があると思う。
一方、粗タンパクを下げるのが栄養学的な今までの常識でいうと、酪農
の生産性をどちらかというところ落とすというような感覚で生産者が見
ている部分が多いことが今後の普及の課題になる可能性がある。

(3) 各事業者における環境負荷の低減に係る取組について

【各畜産事業者より説明】

- ・ (株)カミチクホールディングス
 - ① 九州の休耕地を活用した、飼料用作物の生産
 - ② 食品副産物を活用した飼料の生産
 - ③ 堆肥還元
の推進
 - ④ 中干し延長によるカーボ
ンクレジットの取組

- ・ (株)水迫ファーム

- ① 植物性残渣の収集，回収による日量約 30t 程度のリサイクル飼料の製造
- ② 海上コンテナのラウンドユースによる飼料輸入と有機肥料の輸出

・ (有)うしの中山

- ① UshiDGs (堀口製茶とタグを組み，堆肥を培養し地域の農家等に販売)
- ② 肉牛のオーダーメイド方式の採用

(4) J-クレジットの仕組みと今後の活用について

【味の素(株)より説明】

- ・ J-クレジットのプロジェクト登録と，今後の活用（ビジネスモデルの展開）について説明。

【質疑応答】

・ (株)鹿児島銀行

今回のJ-クレジットについて，金融機関として，県，味の素様，事業者の皆様と一緒に連携しながらやっていかせていただければと思っているところ。今後は，持続的・長期的な取組として，今後成り立つようなスキーム作りやクレジットの購入金額等，様々な事例や事業者の状況等を調査し，取り組んでいく必要があると思う。そこはこれから一生懸命，皆様と一緒に取り組んでいきたいと思っているので，よろしくお願ひしたい。

(5) 鹿児島県畜産温室効果ガス削減推進に係る認定制度について

【畜産振興課より説明】

- ・ この畜産業におけるGXの取組に参画されている畜産事業者の皆様が生産された牛肉や牛乳等の付加価値の向上を図ることができないかという視点で，皆様の環境負荷軽減の取組を，県において認定する制度の検討状況について説明。

【質疑応答】

・ (有)うしの中山

「鹿児島県畜産温室効果ガス削減推進農場制度」という制度の名称は長く，消費者には全く伝わらないと思う。私も販売をしていて思うが，プロを入れて，馴染むようなものを作成した方が良く思う。

(6) 「和牛日本一鹿児島」の統一ロゴマーク及び「和牛日本一鹿児島応援店」について

【畜産振興課より説明】

- ・ 「和牛といえば鹿児島県産」という産地鹿児島をしっかりとアピールしていきたいと考えており，のぼり・ポスターを作成した。また，「和牛日本一鹿児島応援店」への登録もよろしくお願ひしたい。

以上